



# 条例一部改正

市議会は、条例の一部改正について、九月二十五日の本会議で審議し原案のとおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

## 市長の資産等公開条例の一部を改正する条例

証券取引法等の一部を改正する法律（平成十八年法律第六十五号）の公布に伴い、字句の改正を行う必要があるため、稲城市市長の資産等公開条例（平成四年稲城市条例第三十四号）の一部を改正するものです。

この条例は、平成十九年九月三十日から施行します。

## 市税条例の一部を改正する条例

今回の改正の主な内容は、平成十九年三月三十日付けの専決処分で稲城市市税条例第二十三条における法人課税信託の引受けを行う個人を納税義務者として、法人税割を課税することになり、信託法の施行期日定める政令施行により、信託法の施行日が平成十九年九月三十日と定められたことから、税率について東京都及び近隣市の状況を考慮し、十二・二％とするものです。

この条例は、平成十九年九月三十日から施行します。

## 市立公園に設置する体育施設の管理運営に関する条例の一部を改正する条例

平成四年九月に開設した稲城市総合体育館のアクアフィットネスは、市民の方に健康・体力づくりの場として利用していただいております。

# 補正予算

現在十分の一の自己負担割合となつて七十四歳から七十四歳までの被保険者の自己負担割合を十分の二に改めるものです。ただし、一定以上の所得者における

## 一般会計補正予算 四千九百八十七万四千円増額

今回の補正の主なものは、東京都の理科支援員等配置事業費委託金を導入した教育指導に関する経費の増額、区画整理事業の進展に伴う土地区画整理事業特別会計繰出金の増額、防火水槽撤去に関する工事請負費の増額、平成十八年度の事業実績確定による福祉関係の国及び都支出金の返還金等の計上を行うものです。

## 土地区画整理事業 特別会計補正予算 三億七千六百八十二万四千円増額

今回の補正のうち、稲城覆戸地区事業費については、建物一棟、稲城矢野口駅周辺地区事業費については、建物一棟、稲城南多摩駅周辺地区事業費については、建物五棟の移転に伴い建物移転補償費を増額するものです。

## 稲城長沼駅周辺地区事業費については、建物七棟の移転に伴い建物移転補償費を増額するものです。

## 老人保健特別会計補正予算 五千二百四十六万五千円増額

補正予算の内容は、平成

自己負担割合十分の三に該当する被保険者については、自己負担割合の変更はありません。

この条例は、平成二十年四月一日から施行します。

## 稲城第七小学校校舎増築工事請負契約

稲城第七小学校における児童数の増加に伴う普通教室数の不足に備えるため、校舎の増築を行うための請負契約を締結するものです。

専決処分の承認を求めることについて（稲城市一般職の職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例）

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律（平成十九年法律第四十四号）以下「育児休業法」という。）の施行に伴い、稲城市一般職の職員の育児休業等に関する条例（平成四年稲城市条例第二十二号）を地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百七十九条第一項の規定

今回の補正は、介護予防関連事業に係る継続的評価分析支援事業補助金、平成十八年度の介護給付費等の確定に伴う精算、社会参加活動等モデル評価事業に伴う交付金等の経費を計上するものです。歳入では、国庫支出金、支払基金交付金、都支出金、繰入金、繰越金及び諸収入を増額し、歳出では、総務費、基金積立金及び諸支出金を増額するものです。

## 介護保険特別会計補正予算 一億五十四万五千円増額

# 平成十八年度各会計決算は継続審査に

市議会は九月二十五日の本会議で、一般会計・特別会計・病院事業会計の八会計決算を審議するため、決算特別委員会を設置し、これに付託の上、閉会中の継

- 委員長 副委員長
- 中山 けんじ
- 富永 順次郎
- 岡田 まなぶ
- 梶浦 美佐子
- 伊藤 正実
- 北浜 けんいち
- 藤原 愛子
- 伊藤 ちか子
- 井川 まちこ
- 原島 茂

により、平成十九年八月一日に専決処分したので、同条第三項の規定により、承認を求めるものです。

## 副市長に 田野倉秀雄氏

市議会は、副市長渡辺雅弘氏の平成十九年九月三十日付任期満了に伴い、新たに田野倉秀雄氏を選任することに九月五日の本会議で同意しました。

## 教育委員会委員に 伊勢川岩根氏

市議会は、教育委員会委員浅水博氏の平成十九年九月三十日付任期満了に伴い、新たに伊勢川岩根氏を任命することに九月五日の本会議で同意しました。

# お知らせ

## 声の議会だより

録の検索と閲覧ができます。ホームページアドレス <http://aspdb.search.com/inaagi/> せひご利用ください。

## 「会議録の検索と閲覧」がご覧になれます

次回は、第四回定例会で平成十九年十二月三日（月）からご覧いただける予定です。

## 市議会本会議の生中継をインターネットで観たいだけです

今回は、第四回定例会で平成十九年十二月三日（月）からご覧いただける予定です。

## 市議会本会議の生中継をインターネットで観たいだけです

今回は、第四回定例会で平成十九年十二月三日（月）からご覧いただける予定です。

## 市議会本会議の生中継をインターネットで観たいだけです

今回は、第四回定例会で平成十九年十二月三日（月）からご覧いただける予定です。

## 市議会本会議の生中継をインターネットで観たいだけです

今回は、第四回定例会で平成十九年十二月三日（月）からご覧いただける予定です。

## 市議会本会議の生中継をインターネットで観たいだけです

今回は、第四回定例会で平成十九年十二月三日（月）からご覧いただける予定です。

|              |              |
|--------------|--------------|
| 紙            | 表            |
| 〇〇〇に関する請願・陳情 | 〇〇〇に関する請願・陳情 |
| 紹介議員（請願のみ）   | 住所           |
| 請願・陳情代表者     | 氏名           |
|              | 外〇〇人         |
|              | 電話番号         |
|              | 平成 年 月 日     |
|              | 稲城市議会議長 殿    |

|              |
|--------------|
| 本文           |
| 〇〇〇に関する請願・陳情 |
| 要旨           |
| 理由           |

- 楠原 治利
- 多羅尾 治子
- 岩佐 いつみ
- 藤井 雅史
- 荒井 健
- 中村 みほこ
- 佐脇 ひろし
- 田中 しげお

# 委員会の審査から

平成十九年第二回定例会終了後から第三回定例会までの閉会中及び会期中に開催した常任・議会運営・特別委員会での審査・調査の概要は次のとおりです。

## 総務委員会

議案二件を審査しました。  
**稲城市市長の資産等公開条例の一部を改正する条例**

は、質疑・討論はなく、採決の結果、挙手全員で原案のとおり可決されました。

**稲城市市税条例の一部を改正する条例**は、四件の質疑があり、主なものは次の

## 建設環境委員会

議案一件と陳情三件を審査しました。

**稲城市国民健康保険条例の一部を改正する条例**は、七件の質疑があり、主なものは次のとおりです。

問 各自自治体の条例化の状況は。

答 改正した市は、昨年九月に一市、今年三月に一市、六月に十五市で、残りの市町村が九月議会上程している。

問 来年四月の施行ならば十二月の条例化でも間に合うと思うが。

答 昨年六月の法改正を受けての条例改正で、事務手続きの検証もありこの時期に決めていただきたい。

ここで、「自民党の総裁選の中で、変更の凍結も挙げられており、十二月の条例化でも間に合うので、継続審査とされたい。」という動議が提出され、採決の結果、挙手少数で動議は否決

把握できない。  
討論はなく、採決の結果、挙手全員で原案のとおり可決されました。

**所管事務調査事項として**

第三次行政改革大綱及び実施計画の進捗状況、稲城市財政白書（平成十七年度決算）、市民参画について調査を行いました。

## 福祉文教委員会

議案一件と陳情一件を審査しました。

**稲城市立公園に設置する体育施設の管理運営に関する条例の一部を改正する条例**は、四件の質疑があり、

されました。

討論は反対が二件、賛成が一件あり、反対、今、高齢者の暮らしは大変難しく、患者の負担をふやし受診を抑制するやり方は賛成できない。反対、総裁選でも二割負担への変更の凍結の方針を公言しており、きちんと見定める必要があり反対する。賛成は、国の法改正に基づくもので、ほとんどの市が認めてきており賛成する。というものでした。

採決の結果、挙手多数で原案のとおり可決されました。

**公団住宅（現UR住宅）居住者の居住の安定に関する意見書提出を求める陳情**

は、九件の質疑があり、主なものは次のとおりです。

問 公団住宅の空き家状況は。建物住棟は、ある程度人間が入って初めて機能する面があり、また犯罪等の問題もあるが認識は。

答 九月十一日現在のURの稲城地区の募集状況は、向陽台地区五十八戸、長峰

地区十九戸、若葉台地区ゼロ、合計で七十七戸。全体戸数の五割強で約九十五%は埋まっている。転居が多いのは賃貸住宅の特徴であり、一時的に問題は出てくる。問 公団住宅の家賃は幾らぐらいか。それに医療費や介護保険料等を含めるとかなり深刻な状況だと思いが、認識は。

議案一件と陳情一件を審査しました。

**稲城市立稲城第七小学校校舎増築工事請負契約**は、六件の質疑があり、主なものは次のとおりです。

問 三階のホールは、どのような目的で設置したのか。工事中の子供たちの安全

確保は、アクアフィットネスの最近の利用実態は。

答 平成十六年度が二千四十五人、一日当たり六人、平成十七年度が千六百九十九人、一日当たり五人、平成十八年度が千八百三十五人、一日当たり五人である。討論はなく採決の結果、挙手全員で原案のとおり可決されました。

**稲城市立稲城第七小学校校舎増築工事請負契約**は、六件の質疑があり、主なものは次のとおりです。

問 三階のホールは、どのような目的で設置したのか。工事中の子供たちの安全

確保は、アクアフィットネスの最近の利用実態は。

答 平成十六年度が二千四十五人、一日当たり六人、平成十七年度が千六百九十九人、一日当たり五人、平成十八年度が千八百三十五人、一日当たり五人である。討論はなく採決の結果、挙手全員で原案のとおり可決されました。

**稲城市立稲城第七小学校校舎増築工事請負契約**は、六件の質疑があり、主なものは次のとおりです。

全と避難経路の確保は。

問 ホールは学校と教育委員会が協議し、有効に活用したい。工事する場所と子供たちが歩く動線を分離する。避難経路は非常階段を使い、安全確保を図る。

問 受水槽からの給水を直接給水に変えるなど、水周りの検討は。

答 増築部分の水周りは二系統を考えており、トイレの処理水は既存の受水槽を使い、飲み水は直接配管にする。

討論はなく、採決の結果、挙手全員で原案のとおり可決されました。

**原爆症認定制度の抜本改**

取り組んでいくべき地域だと思いが。

答 多摩丘陵、三浦丘陵の関係で川崎市とも協議をしており、緑を残せるように努力したい。

討論は賛成が一件あり、稲城の自然を守ることを求める陳情は、六件の質疑があり、主なものは次のとおりです。

問 この通路計画は、過去に委員会に報告されており、通路以外は緑を再生することになっていったと思いが。

答 当初の計画と変わっていない。一部、将来的に土地利用したいとのこと、基本的に伐採した箇所は再生する。

問 一部土地利用の具体的な内容は。住宅ではなく大規模でもないか。

答 谷間を平らにした部分と最上部の平らな部分の将来的な土地利用や内容・規模等は決まっていない。住宅はつくらないと聞いている。

問 緑の保全に積極的に

善を求める意見書採択に関する陳情は、一件の質疑があり、その概要は次のとおりです。

問 市内で原爆症と認定されている方は何人いるのか。

答 平成十八年三月三十一日現在で、被爆者は四十八人、その内一人が認定被爆者である。

討論はなく、採決の結果、挙手全員で採択することに決定されました。

**所管事務調査事項として**

稲城市介護支援ボランティア制度、学校図書館の整備と活用について調査を行いました。

三百二十三件あり、その内クレジット関係は十八件で、都の相談は十三万六千六百九十二件である。消費者ルームでは相談員が週四日常駐し、窓口や電話で対応している。運営協議会では、出前講座や講演の実施、またメディアアン通や広報で周知している。

討論はなく、採決の結果、挙手全員で採択することに決定されました。

**所管事務調査事項として**

「グランドステージ稲城」再建計画、尾根幹線川北下地区環境調査、公共下水道第三期事業、富士通旧南多摩工場土壌・地下水対策工事進捗状況、市内エスカーターの安全点検、緑の保全と南山土地画整理事業について調査を行いました。

平成十九年度稲城市土地画整理事業特別会計補正予算（第一号）は、四件の質疑があり、主なものは次のとおりです。

問 南多摩駅周辺地区の工場等の移転の状況は。三・三・七号線の開通と南武線高架との関係は。

答 今回移転の倉庫は、大部分が三・三・七号線の

善を求める意見書採択に関する陳情は、一件の質疑があり、その概要は次のとおりです。

市内で原爆症と認定されている方は何人いるのか。

答 平成十八年三月三十一日現在で、被爆者は四十八人、その内一人が認定被爆者である。

討論はなく、採決の結果、挙手全員で採択することに決定されました。

**所管事務調査事項として**

稲城市介護支援ボランティア制度、学校図書館の整備と活用について調査を行いました。

三百二十三件あり、その内クレジット関係は十八件で、都の相談は十三万六千六百九十二件である。消費者ルームでは相談員が週四日常駐し、窓口や電話で対応している。運営協議会では、出前講座や講演の実施、またメディアアン通や広報で周知している。

討論はなく、採決の結果、挙手全員で採択することに決定されました。

**所管事務調査事項として**

「グランドステージ稲城」再建計画、尾根幹線川北下地区環境調査、公共下水道第三期事業、富士通旧南多摩工場土壌・地下水対策工事進捗状況、市内エスカーター

の安全点検、緑の保全と南山土地画整理事業について調査を行いました。

平成十九年度稲城市土地画整理事業特別会計補正予算（第一号）は、四件の質疑があり、主なものは次のとおりです。

問 南多摩駅周辺地区の工場等の移転の状況は。三・三・七号線の開通と南武線高架との関係は。

答 今回移転の倉庫は、大部分が三・三・七号線の

## 補正予算特別委員会

議案四件を審査しました。  
**平成十九年度稲城市一般会計補正予算（第三号）**は、九件の質疑があり、主なものは次のとおりです。

問 理科支援員の配置モデル事業で、一学級に十一時間入る根拠は。

答 報償費と交通費の合計から消耗品費を引いた五十四万六千円を学級数と時給単価で割ると約十一時間になる。

問 障害者自立支援給付費国庫負担金と都負担金の返還金に合わせて約七百六十万円あるが、障害者を持つ方たちに対しての認定作業が順調に行われた上で余ったのか。

答 この負担金は、申請額に比べて、居宅介護等で約三百二十四万円、施設入所等で約四百五十万円、補装具費で二百三十六万円等、合計で千一十八万八千円減となり、国に二分一、都に四分の一の負担分を返還することとなった。対象者がすべてサービスを受けられたと考えている。

討論はなく、採決の結果、挙手全員で原案のとおり可決されました。

**平成十九年度稲城市土地画整理事業特別会計補正予算（第一号）**は、四件の質疑があり、主なものは次のとおりです。

問 南多摩駅周辺地区の工場等の移転の状況は。三・三・七号線の開通と南武線高架との関係は。

答 今回移転の倉庫は、大部分が三・三・七号線の

敷地内で、用地の確保ができ、都では平成二十二年に完了させ、是政橋と併せて平成二十三年に交通開放したいとしている。高架についても二十二年を目標に進めている。

討論はなく、採決の結果、挙手全員で原案のとおり可決されました。

**平成十九年度稲城市老人保健特別会計補正予算（第一号）**は、七件の質疑があり、主なものは次のとおりです。

問 介護支援ボランティア制度の今年度の予算は。モデル事業として参加される方を一万人の1%で百人と見ているのか。

答 今年度は、ボランティアの登録と活動が中心になる。活動内容をポイントとして評価し、その原資は来年度の当初予算で計上する。九月十一日現在で百十六人の登録があり、目標を達成したスタートができた認識している。

## 議会運営委員会

**特定担任事務調査事項と議会運営及び議会運営の効率化について調査を行いました。**

市での相談は昨年度

# めざし一般質問

本定例会の九月六日から四日間わたり、十九人の議員が市政について六十六項目の一般質問を行いました。その要旨は次のとおりです。紙面の都合上、一人一項目のみ掲載しています。

車いすでも移動しやすい「優しこまちへいり」を  
中村議員

問 だれにでも優しい向陽台地区の歩道整備は。

答 小舗石舗装は改善費用も莫大になるため、当面は特に凹凸がひどい箇所や目地がはがれた箇所等につき補修をしていく。将来的な改善は検討する。

問 主要な動線を考慮し、当面できることから凹凸の緩和に配慮してほしいが。

答 当面は凹凸がひどい箇所や目地がはがれている箇所を補修していく。

問 車いすでのさらなる円滑なバス乗降に努力してほしいが。

答 ハード面はもとより、

ふれあいの森キャンプ場の利用状況は  
原島議員

問 ふれあいの森キャンプ場の利用状況は。

答 具体的な利用者数は、地区キャンプ等利用者が九百四十三名、家族キャンプ利用者が十組六十二名、小学校キャンプ利用者が五百七十九名、一般開放利用者が六百七十一名の合計二千二百五十五名である。

問 地区キャンプの日程におけるICTの活用、学校における情報モラル教育)

問 坂浜・平尾地区のまちづくりについて  
中山議員

問 坂浜西地区のまちづくりの状況は。

答 鶴川街道の整備にあわせて用途地域の変更を行う。既に地権者等への説明会や縦覧を行った。今後、東京都都市計画審議会に付議し、十月初旬の告示を予定している。

問 小田良地区及び上平尾地区の土地区画整理の状況と課題は。

答 小田良地区については、平成二十一年度を目標に住民の合意形成を図っていく。上平尾地区については、現在、概算事業費の算出を行っている。課題としては、都市計画道路三・四・三三号清水谷戸小田良線の変更である。

問 鶴川街道及び三沢川

が取れないとの声を聞くが現状はどうなっているのか。

答 地区キャンプについては、全地区の代表者の調整に基づき、夏休み期間中に一泊二日のキャンプを実施している。

問 学校との連携が必要と考えるが、市の見解は。

答 稲城ふれあいの森の開設作業には、学校関係者の協力を得ている。また、地区キャンプの日程を調整する会議に、指導主事が出席している。今後も連携を推進する。

問 矢野口地区基盤整備)

マイバッグの推進は  
井川議員

問 マイバッグ推進の現状と今後の対応は。

答 昨年度販売した五百枚は、既に完売している。今年度、利用者からの意見要望をもとに改善し、イベントなど様々な機会を通じてPRしていく。

問 広く市民にPRし、地球環境を守る認識を持つきっかけにする考えは。

答 マイバッグを活用し、レジ袋を受け取らない行動を推奨して提出している。

問 平成十一年度の東京都の財政状況はどのような状況であったのか。また、今後この債務負担が市の財政に与える影響は。

答 平成十一年度の予算で試算すると財政再建の方策を講じない場合、毎年約六千五百億円の財源不足となっていた。市への影響は、平成三十三年度まで毎年約四億円の負債が予定され厳しい状況である。

問 NT関連市の市長会、議長会、議員団も含めて補助金の復活に向け行動するべきではないか。

答 今後一市で行うより市長会、南多摩NT協議会を通じて対応していく。(その他、尾根幹線の課題解決、南武線高架事業に連動した稲城長沼駅周辺整備) NT・・・多摩ニュータウン

問 ニュータウンに六十トン級一基と四十トン級二基を設置する費用は。

答 谷山緑地内公園の四十立方メートル級が六百一十六万四千四百一十一円、若葉台公園の四十立方メートル級が六百四十六万七百三十九円、中央公園野球場駐車場の六十立方メートル級が八百七十七万七千七百七十円、このうち九百二十万三千円



開発が予定されている上平尾地区



市民に広がっているマイバッグ

がレジ袋の廃棄の抑制につながる。今後も店舗等の協力とマイバッグの利用促進に取り組み。

問 多摩市では、ペットボトルのふた百個でマイバッグと交換する取り組みを五月からスタートさせ好評を得た。今後の事業展開は。

答 本市では、ペットボトルのふたは可燃ごみで回収し、サマルリサイクルとして活用しているがレジ袋削減の手法であるので、今後の取り組みの参考としていく。

問 (その他、パソコン講習、南山グラウンドの受け皿としての取り組み、臨時職員)の雇用)

問 サマルリサイクル：廃棄物から熱エネルギーを回収し、利用すること。

問 玄関より少し先のタクシー乗り場の一部スペースをバス停にできる可能性があり今後検討する。

(その他、保育の充実・待機児解消、市役所・市立病院におけるキッズスペース等の整備、向陽台の水の広場整備・信号機)の設置)

問 ニュータウンに六十トン級一基と四十トン級二基を設置する費用は。

答 谷山緑地内公園の四十立方メートル級が六百一十六万四千四百一十一円、若葉台公園の四十立方メートル級が六百四十六万七百三十九円、中央公園野球場駐車場の六十立方メートル級が八百七十七万七千七百七十円、このうち九百二十万三千円

問 後期高齢者医療制度について  
多羅尾議員

問 後期高齢者医療制度でも、保険料滞納の場合、資格証明書を発行するの。か。

答 負担能力がありながら一年以上以上保険料を滞納している者には資格証明書を発行の規定が適用される。市としても公平性の観点から必要と認識している。

問 高い保険料負担に対する取り組みは。

答 収入が著しく減少し

NT関連公設施設整備費償還費補助金の復活は  
荒井議員

問 平成十一年に東京都の財政危機を理由に減額された補助金の復活は。

答 現在、三分の二が補助金として交付されているが昨今の状況変化も踏まえ、従前の十割に満額交付されるよう、平成二十年度東京都予算編成に対する市長会



平成19年第3回定例会での審議結果（平成19年9月3日～9月25日）

Table with columns for 議員名, 議案等の名称, 議決結果, and voting counts for various parties (公明党, チェンジ21, 新政会, etc.) and outcomes (賛成, 反対).

Table for 議員提出議案 (Member Proposed Bills) with columns for 意見書 (Opinion Book) and voting counts.

稲城市議会議員 法定上限数30人 条例定数22人 現員22人

なお、一般会計・特別会計(国民健康保険事業、土地区画整理事業、下水道事業、老人保健、介護保険、受託水道事業)・病院事業会計の八会計決算は、決算特別委員会に付託の上、閉会中の継続審査といたしました。

可=可決 同=同意 承=承認 ○=賛成 ×=反対 議=議長 欠=欠席

意見書

市議会は第三回定例会の九月二十五日の本会議で、議員から提出された意見書を審議し、原案のとおり可決いたしました。可決した意見書は早速、各関係機関に送付し、要請しています。なお、紙面の都合上、意見書の要旨のみ掲載しております。意見書の全文につきましては、市議会ホームページでご覧いただけます。ホームページアドレス http://www.city.inagi.to/kojip/gikai/index.html

法定受託事務であることから、地方自治体の負担割合を軽減すること。(提出先 内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣) 原爆症認定と被爆者の救済に関する意見書 国会及び政府に対し、司法判断等を踏まえ早期に原爆症の認定を行い、被爆者の救済について適切な対応を図るよう強く要請する。(提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣) 割賦販売法の抜本的改正に関する意見書 国会及び政府に対し、割賦販売法改正に当たっては次の事項を実現するよう強く要請する。

契約書面交付義務及びクーリング・オフ制度を規定すること。(提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、経済産業大臣) 後期高齢者医療制度の健全な財政運営の確保及び円滑な施行を求める意見書 後期高齢者医療制度の健全な財政運営の確保及び円滑な施行を目指す。以下の事項を強く求める。(提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、東京都知事、東京都後期高齢者医療広域連合長) 探採 原爆症認定制度の抜本的改善を求める意見書採採に関する陳情 割賦販売法の抜本的改正を求める意見書を政府等に提出することを求める陳情 趣旨採採 公団住宅現UR住宅(居住者の居住の安定に関する意見書提出を求める陳情) 天神山の緑を復活させ、稲城の自然を守ることを求める陳情

陳情の結果